

豊川市行政経営改革プラン

豊川市行政経営改革アクションプラン

取組状況報告書

(令和元年度分)

令和2年11月

豊川市



目次

1	全体の取組結果	・ ・ ・ ・	1
2	重点取組の評価結果	・ ・ ・ ・	3
3	重点取組以外の評価結果	・ ・ ・ ・	28
4	重点評価の結果	・ ・ ・ ・	127
	参考	・ ・ ・ ・	130



1 全体の取組結果

■概要

行政経営改革アクションプラン（平成31年度～平成33年度/2019年度～2021年度）で掲げた目標について、令和元年度における全体の取組結果の概要は、次のとおりです。

なお、行政経営改革審議会では、重点取組の全件25件について評価を受けています。

- ① 実施率について
 - 実施率：目標値97%以上（111件以上）⇒実績値95.6%（109件）
- ② 収入増加額・支出削減額について
 - 収入増加額・支出削減額：目標値2.5億円以上⇒実績値2.6億円
 - 目標を超えるもの：3件 ■目標に至らないもの：6件（財政・資産の別掲分含む。）
- ③ 将来像別の評価結果による点数について
 - 進捗度評価点：66.5点/100点 ■効果の達成度評価点：67.9点/100点
- ④ 進捗度評価（計画と比較した進捗度の評価）について
 - 3点（計画を超える進捗）：0件 ■1点（計画に至らない進捗）：0件 ■0点（中止・保留）：0件
- ⑤ 効果の達成度評価（目標とする効果と比較した達成度の評価）について
 - 3点（目標を超える効果達成）：6件 ■1点（目標に至らない効果達成）：1件
 - 0点（工程どおりに開始せず、効果がないもの）：0件

■集計結果

※目標の件数は、次年度以降のアクションプランでは、全体の取組件数の変更に伴い変更されますが、割合は変更されません。

① 実施率（具体的取組の実施状況（検討などを含まない。））

全114件の取組中、実施状況が「取組開始」「取組中」「実施」「完了」となった件数及び割合

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標	件数	101件以上	105件以上	109件以上	111件以上	114件
	割合	89%以上	92%以上	95%以上	97%以上	100%
実績	件数	104件	108件	109件	109件	
	割合	92.0%	94.7%	95.6%	95.6%	

② 収入増加額・支出削減額（取組みを実施しなかった場合と比較して得られた収入増加額と支出削減額の合計）

全114件の取組中、収入増加額・支出削減額が得られた合計額

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標		2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上	2.5億円以上
実績		4.1億円	2.9億円	3.3億円	2.6億円	

③ 将来像別の評価結果による点数

合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.5点。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
進捗度評価点	67.6点	67.5点	67.0点	66.5点	
効果の達成度評価点	68.9点	68.1点	68.0点	67.9点	

④ 進捗度評価の状況

全ての取組における進捗度評価（計画と比較した進捗度の評価）の件数、将来像別評価点数（将来像ごとに20点を配点し、合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.5点）

※進捗度評価 3点：計画を超える進捗 2点：計画どおり進捗 1点：計画に至らない進捗 0点：中止・保留

<審議会後評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働	0件	19件	0件	0件	19件	13.3点
将来像2情報・共有	0件	19件	0件	0件	19件	13.3点
将来像3財政・資産	0件	32件	0件	0件	32件	13.3点
将来像4組織・仕組	0件	15件	0件	0件	15件	13.3点
将来像5人材・品質	0件	29件	0件	0件	29件	13.3点
合計	0件	114件	0件	0件	114件	66.5点

⑤ 効果の達成度評価の状況

全ての取組における効果の達成度評価（目標とする効果と比較した達成度の評価）の件数、将来像別評価点数（将来像ごとに20点を配点し、合計で100点満点。全て計画どおり、目標どおりの場合：66.5点）

※効果の達成度評価 3点：目標を超える効果達成 2点：目標どおりの効果達成
1点：目標に至らない効果達成 0点：工程どおり開始せず、効果がないもの

<審議会後評価>

	3点	2点	1点	0点	計	点数
将来像1市民・協働	0件	18件	0件	0件	18件	13.3点
将来像2情報・共有	1件	18件	0件	0件	19件	13.7点
将来像3財政・資産	4件	26件	1件	0件	31件	14.0点
将来像4組織・仕組	0件	14件	0件	0件	14件	13.3点
将来像5人材・品質	1件	26件	0件	0件	27件	13.6点
合計	6件	102件	1件	0件	109件	67.9点

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3	重点4	企業など他団体との人事交流	市と企業で相互に職員を派遣・受入を行う。					<ul style="list-style-type: none"> 他団体との連携の強化 民間の知識の習得 	人事課	
				民間への短期派遣研修の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、引続き豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣し、民間派遣研修として「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ参加させる。また、豊川市社会福祉協議会からの職員を継続して受入れる。 				
取組内容	<p style="text-align: center;">【取組中】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣した。 「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ3名を派遣した。 豊川市社会福祉協議会から職員1名を受入れた。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> 公務職場では学ぶことのできない民間企業の手法等を学び、異業種交流を通じ、職員自らの気づきによる行政視野の拡大と意識改革の促進を図ることができた。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 公務職場では学ぶことのできない民間企業の手法等を学び、異業種交流を通じ、職員自らの気づきによる行政視野の拡大と意識改革の促進を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見	別掲「重点評価の結果」のとおり。(P.127)				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 豊川青年会議所への派遣については、時間外や週休日等の参加となるため、受講者本人、所属や家族の理解が必要である。 これらの研修により得られたものを本市の業務に還元することが重要である。
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、引続き豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部へ各1名を派遣し、民間派遣研修として「早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント部会」へ参加させる。また、豊川市社会福祉協議会からの職員を継続して受入れる。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	① トップマネジメントの確立		
改革手段	1 トップマネジメントの確立		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	36

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点16	企画調整会議の推進	市内部における企画調整会議の活用を図る。					・行政の円滑運営	企画政策課	
				企画調整会議の積極的な活用						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も企画調整会議及び企画調整審査会の実施を継続するとともに、効果的な方法について検討を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・令和元年度は企画調整会議を1回、企画調整審査会を4回開催した。 ・企画調整会議（公民館等の再編方針について） ・企画調整審査会（ドローンを活用した地域社会の実現に向けた官民連携検討準備会の設置についてなど）				
取組による効果	・市政の重要案件をレベル感に応じて関係各部・課で情報共有することにより、行政の円滑な運営に寄与する。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・企画調整会議及び企画調整審査会を開催することで、各部・課で情報共有ができ、市の重要な施策について、強力なリーダーシップが発揮でき、トップマネジメントの強化を図ることができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見	/				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・企画調整会議及び企画調整審査会の運営方法について、課題の内容等に応じてより効果的なマネジメントの強化や情報共有が図られるよう弾力的な運用を実施する必要がある。				
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組を継続するとともに、効果的な方法について検討を実施する。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	人事課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	1 組織の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	37

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2	重点	組織と定員の適正化	組織と人員配置(定員管理)のあり方を検討して実施体制の最適化を図る。					<ul style="list-style-type: none"> 実施体制の最適化 実施体制の強化 	人事課	
				組織と人員配置のあり方を随時検討					行政課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、管理職との人事異動ヒアリングにおいて、詳細に行政ニーズや必要人数を聞き取り、組織体制の強化につなげる。 組織と定員の適正化を図るために、組織を所管する行政課と連携する。 				
取組内容	<p style="text-align: center;">【取組中】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第5次豊川市定員適正化計画に連動した組織改正が行えるよう、管理職との人事異動ヒアリングを行った。 行政課が行う組織改正のヒアリングに人事課も同席し、情報共有を行った。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制の需要の明確化と、体制強化を図ることができた。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ヒアリングにより組織体制の需要を明確化し、限られた人的資源の中、概ね要望にあった人事異動を行うことができ、組織体制の強化を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価(外部評価)

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 職員数の大幅な増加が見込まれない中、限られた人的資源で効果的に、行政ニーズに応えられる組織体制を整えなければならない。 				
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、管理職との人事異動ヒアリングにおいて、詳細に行政ニーズや必要人数を聞き取り、組織体制の強化につなげる。 組織と定員の適正化を図るために、組織を所管する行政課と連携する。 				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1	重点1	総合計画実施計画の充実	総合計画実施計画策定において、事前評価の結果をより有効に活用できる手法を検討し、充実させる。	取組実施				・より実効性の高い事業展開	企画政策課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き事前評価の内容をもとに関係各課でワーキング等を行い、より質の高い事業の実施を目指す				
取組内容	【取組中】 ・昨年ワーキングを実施した「豊川公園の多機能化」についての実証実験イベント「こどものまち」を12月に実施し、今後の事業展開に係る具体的な課題等を検証した。				
取組による効果	・ワーキングの実施により、事業の実施に具体性を持たせるとともに、連携により効果的な事業展開が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・総合計画実施計画策定において、各課で連携を意識した事業展開の意識づけができた。令和元年度に実施した実施計画の策定において18の連携を生み出すことができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見	実証実験イベントとして、さらに成果を検証し、豊川市独自のこども中心のイベントとして継続・定着していけると良いと考える。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・引き続き事前評価による事業の磨き上げを具体的な施策に結びつけるよう、手法を充実する必要がある。				
今後の具体的な取組予定	・引き続き事前評価の内容をもとに関係各課でワーキング等を行い、より質の高い事業の実施を目指す。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	財政課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	2 評価手法の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3	重点19	施策の成果の見直し	主要施策の成果報告書に成果指標や事後評価等を加える見直しを行う。					・評価過程の明確化	財政課	
				事後評価等を加えた資料作成					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・主要施策の成果報告書に成果指標や事後評価等を加える見直しを行う。				
取組内容	【取組中】 ・平成30年度決算にかかる主要施策の成果報告書において、自己評価結果の掲載した。				
取組による効果	・決算にかかる主要施策の成果報告書の見直しにより、評価過程の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成30年度決算にかかる主要施策の成果報告書において、自己評価結果の掲載について、より成果がわかるような表現に改めるなど改善を図った。また、当初予算重点事業の公表資料との整合を意識した作成にも努めることができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見	別掲「重点評価の結果」のとおり。(P.128)				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・報告書の作成スケジュール及び掲載内容のさらなる検討が必要である。				
今後の具体的な取組予定	・総合計画実施計画事業又は各部当初予算重点事業について、より明確で分かりやすい事後評価等ができるよう、さらなる検討を行う。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織		その他
				30	31	32	33				
1	重点20	職員研修の充実化	人材育成基本方針に沿って、今後、職員研修を充実する。	 人材育成基本方針に沿った職員研修の実施				・時機に合った、必要性の高い学習の提供	人事課		

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 「豊川市人財育成基本方針」に基づき、充実した職員研修を実施する。 女性職員の登用と職域の拡大を図るための研修を継続して実施する。 				
取組内容	【取組中】 <ul style="list-style-type: none"> 「豊川市人財育成基本方針」に基づき、職員研修の充実化に取組んだ。 女性職員の登用と職域の拡大を図るため、複数の女性職員を対象とし、外部研修を実施した。 				
取組による効果	・限られた予算・人員のなかで、行政ニーズに対応する職員の資質向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・それぞれの研修で所期の目的を達成でき、職員の資質向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・「豊川市人財育成基本方針」を周知し、これに基づいて研修を実施する必要がある。
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 「豊川市人財育成基本方針」に基づき、充実した職員研修を実施する。 女性職員の登用と職域の拡大を図るための研修を継続して実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	2 定員適正化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点21	定員の適正化の推進	第5次定員適正化計画に基づく定員の適正化を推進する。	 少数精鋭体制の推進				・人件費の削減	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・第5次豊川市定員適正化計画に基づき、引き続き定員の適正化に努めるとともに、人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努める。				
取組内容	【取組中】 ・第5次豊川市定員適正化計画を指標としつつ、行政需要の増加を勘案し、定員の適正化に努めた。（対計画値：+9名。対前年比で+20名） ・人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努めた。				
取組による効果	・限られた人的資源の中で、人材育成施策により、職員の能力向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・令和元年4月1日付の職員数は1,131人であり、第5次豊川市定員適正化計画上の職員数1,122人を9名上回ったが、保育サービスの充実等の行政需要の増加を勘案し、妥当な職員数であると考えます。また、フルタイム再任用職員20名と育児休業代替任期付職員4名も活用し、少数精鋭体制を推進することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見	/				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・第5次豊川市定員適正化計画は、令和2年度までの計画となっているため、次期定員適正化計画を策定する必要がある。次期定員適正化計画において、行政需要を適切に把握し、限られた人材の中、効果的な施策によって行政運営を推進していく必要がある。				
今後の具体的な取組予定	・第6次豊川市定員適正化計画を策定し、引き続き定員の適正化に努めるとともに、人材育成施策（研修等）の実施により、職員の能力向上に努める。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質				主管課	市民課				
施策	② 窓口サービスの向上									
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組					該当ページ	46				
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点22	お客様を迷わせない取組の実施	番号発券機の導入を行い、窓口の状況に応じて発券機等への案内を行う。					・窓口サービスの向上	市民課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 番窓口の証明発行受付、会計窓口において、混雑時にスムーズな対応ができるように工夫する。 ・ モニターに気づかれない方へのさらなる事前記入促進への取組みを工夫する。 ・ 待ち時間の短縮やわかりやすい案内ができるように継続して取り組む。 				
取組内容	<p>【取組中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 番窓口の証明発行受付、会計窓口にお並びいただく列を振り分けるため、ベルトパーティションと案内マットを設置した。 ・ 待ち人数が増加したときや繁忙期に、職員が待合フロアに出て、お待ちの方からご用件を伺い、必要な手続きのご案内や、疑問に対するご説明等を行った。（フロアマネジャーの配置） 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 番窓口の証明発行受付、会計窓口にお並びいただく列をベルトパーティション、案内マットで振り分けることにより、職員が振り分ける必要がなくなり、職員は証明発行事務に専念することができ、待ち時間を短縮することができた。 ・ フロアマネジャーを配置して、異動届出書の事前記入の案内、窓口のたらい回しの解消、別の手続方法の提案等を行ったことにより、待ち時間を短縮することができたとともに、市民の不安、不満な気持ちを解消することができた。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベルトパーティション、案内マットを設置したことにより、混雑時においてもスムーズな対応ができたことから、目標どおりの効果達成とした。 ・ 市民の待ち時間や職員の業務遂行時間を短縮したことのみならず、市民への不安、不満な気持ちを解消することが出来たことから、目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見	良い取組みであり、待ち時間の提示が出来るとさらに良い。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 番窓口の証明発行受付、会計窓口において、混雑時にお客様の待つ方法や待ち時間がどれくらいかかるかが不明であったことにお客様から不安、不満がでるケースがあった。 ・ 待合フロアでの案内が不十分なときや、混雑時に職員が待合フロアに出ることができないときがあった。 				
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 番窓口の証明発行受付、会計窓口において、お客様の待つ方法、待ち時間などを提示できるように工夫をする。 ・ 待合フロアでのフロアマネジャーによる案内を的確に行うため、簡易な案内方法を確認したり、分かりやすい案内掲示板等の工夫をしたりする。 				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点23	GIS*の活用 (工事箇所 情報、災害 時の情報等 の提供)	GISにより工事箇 所情報や災害時 の情報等を提供 する。					<ul style="list-style-type: none"> 情報公開の迅速化 公開情報の確実性確保 	情報システム課	平成32年 度に次期シ ステム運用 予定
				工事箇所、災害時の情報等の提供				関係各課		

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、提供している交通規制箇所の更新を行う。 次期G I Sの構築を滞りなく進める。 				
取組内容	<p>【取組中】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民公開型G I Sに道路・工事情報や防災情報等を掲載し、市民等への情報提供を行った。 現行G I Sの利用期間が令和元年度末で満了となるため、次期G I S更新作業を進めた。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを通じて道路・工事情報、防災情報等の地図情報を市民等へ提供することができた。 次期G I S更新に併せシステム統合を行い、地図情報の二重管理を解消し、スムーズ情報提供が行えるような仕組みを構築した。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民公開型G I Sにて道路・工事情報、防災情報等を提供することができたため、目標どおりの効果達成度とした。 地図情報の二重管理を解消し、スムーズ情報提供ができるよう次期G I S更新を進めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見	別掲「重点評価の結果」のとおり。(P.129)				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月にG I S更新しているため、課題等の整理や見直し等を行っていく必要がある。 スマートフォンやタブレットでのアクセスが増えることが想定されるため、これらの機器でも見やすいよう検討する。 医療・福祉情報に介護の情報以外の福祉の情報も公開できないか検討する。
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> システムの課題等を整理し、利便性向上に向けて検討見直しを行う。また、安定的に稼働するよう適切なシステム運用管理を行う。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1	重点24	業務改善運動の推進	あらゆる手法を活用してアイデアを引き出し、業務改善運動を推進する。	 カイゼン運動の実施				・職員の業務改善意識の向上 ・業務の効率化	行政課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続きT-1グランプリを実施し、働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうために業務改善に対する周知・啓発を図る。				
取組内容	【取組中】 ・カイゼン運動として、T-1グランプリを実施した。 ・仕事カイゼンに関する啓発・支援を強化するため、カイゼン週間を設定し、他市等の取組み事例について紹介し業務改善への意識の高揚を図った。 ・優秀仕事カイゼンを選出し、表彰を行った。				
取組による効果	・T-1グランプリの取組み件数が174件（前年度の177件）であり、うち「働き方改革」に関する取組みは12件であった。カイゼン週間などにより、仕事カイゼンの推進及び業務改善意識の向上を図ることができたと考えられる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・カイゼン週間などの取組みの結果、T-1グランプリの取組み件数について、前年度に近い件数を推移し、取組み完了件数については、前年度よりも増加した。また、昨年度追加をした「働き方改革」部門の改善取組みも実施されたことから、業務改善意識の向上や業務の効率化を図ることができたと考えられるので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する外部評価・意見	マンネリ化を防ぐ努力が必要であり、T-1グランプリを実施するための改善運動にならないようにする必要がある。				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・仕事カイゼンの意識は定着し、着実に取組みを実施してきているが、T-1グランプリを実施し7年が経過しており、意識の停滞を防止するため今後も業務改善意識の向上を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続きT-1グランプリを実施し、働き方改革を意識した仕事カイゼンを考えてもらうために業務改善に対する周知・啓発を図る。令和3年度以降については、T-1グランプリに代わり、内部統制の推進を図る中で業務改善に対する周知・啓発を図る。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	都市計画課
施策	① 市民参画の推進		
改革手段	2 市民参画機会の増加		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	12

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		ワークショップの活用	密集市街地整備事業において、地元活動団体とワークショップを実施する。				・まちづくりへの市民参加の増加	都市計画課	実施時期未定
				ワークショップの実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ 今後は、牛久保地区において、主にハード整備を進める予定であり、牛久保地区の整備が具体化された後、次地区に取組む予定である。				
取組内容	【調整中】				
	・ 前年度に掲げた取組予定内容・目標の通り、牛久保地区において主にハード整備を進めている。ワークショップは、次地区において取組む予定である。				
取組による効果	・ ワークショップを実施していないため、効果はない。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・ ワークショップを実施しておらず、効果はないため、評価する内容はないが、次地区に取組む際には、市民が参加しやすいよう整備手法を検討する必要がある。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見	/				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ 牛久保地区については、ワークショップを実施することにより、まちづくりへの市民参加を増加させることができた。今後は、次地区において、より多くの市民が参加できるよう整備手法を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・ 今後は、牛久保地区において、主にハード整備を進める予定であり、牛久保地区の整備が具体化された後、次地区に取組む予定である。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	道路河川管理課 公園緑地課
施策	② 市民協働の推進		
改革手段	1 協働の仕組づくり		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	13

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		アダプトプログラムの推進	民間での管理の促進や町内会などによる公共施設の美化のための組織化を推進する。 ・道路や河川の美化清掃活動の実施 ・公園や広場等の地元管理の推進	>	>	>	>	・市民協働の推進 ・維持管理経費の削減 ・地域の連携の醸成 ・ボランティアの活用	道路河川管理課 公園緑地課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・参加への敷居を感じさせないように、ホームページ、CCネット市政情報、出前講座を通じて、当プログラムに関心を持っていただけるように理解と周知を図り参加を募る必要がある。				
取組内容	【取組中】 ・ホームページや豊川商工会議所月報（メセナ）による市政情報の周知をした。 ・メセナに掲載している案内文を親しみが持ちやすいように変更した。 ・新たに、新規参加を促すため市内の4事業所等へ訪問し、事業所ごとにあった参加方法を提案した。				
取組による効果	・アダプトプログラムの参加要件に関するの問い合わせが増加した。 ・訪問での案内により事業所の参加があった。（1団体）				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・新たに始めた事業所訪問による一定の効果はあったが、参加団体数が伸びなかった。一方、市政情報の掲載により問い合わせが増え、新規参加の申請があったため、目標どおりの効果達成とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・事業所訪問による参加団体数が伸びなかった原因として、訪問数が少なかったことが考えられるため、事業所訪問を積極的に行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・訪問計画書を作成し、訪問予定管理や事業所周辺の美化状況等をまとめ、訪問数増加を図る。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	介護高齢課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化		
改革手段	1 企業などとの連携		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	15

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		企業・民間 団体と連携 した福祉 サービスの 展開	子育て支援、高 齢者・障害者福 祉などのサー ビスを企業・民間 団体と連携して 提供する。	<small>・開設準備経 費の補助 ・地域密着型 サービス事業 所（介護）の 開所</small>	企業・民間団体との連携			民間による市民 サービスの充実	介護高齢課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、豊川市の介護サービス提供体制の維持・充実を図るため、東三河広域連合と連絡・調整を行う。 引き続き実施内容の充実や、実施箇所数の増加に努めるため、認知症カフェへの支援を行う。運営費補助を受けていない認知症カフェについても立ち上げや継続支援など、認知症地域支援推進員や生活支援コーディネーターと連携して対応していく。 				
取組内容	<p style="text-align: center;">【取組中】</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェについて、運営経費に対する補助を10箇所実施するとともに、認知症カフェの立ち上げ支援につながる相談対応などを行った。 認知症カフェが特定の人のための特別な場所ではなく、地域住民にとって身近な集いの場であることを周知していくため、令和2年2月に社会福祉協議会が実施した「地域福祉活動推進セミナー」にて、認知症地域支援推進員の活動や認知症カフェの様子を紹介するブース展示を行った。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> 地域における認知症についての理解をさらに深めることができた。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェの開設数は、目標12箇所に対して10箇所となっているが、認知症カフェの立ち上げ支援につながる相談対応や、認知症の理解促進につながる具体的な取組みが実施できていることから、目標どおりの効果達成度とした。 				


○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者の増加に伴い、今後も認知症の方やその家族への支援の充実を図るとともに、地域における認知症についての理解を深めていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き実施内容の充実や、実施箇所数の増加に努め、認知症カフェへの支援を継続していく。また、運営費補助を受けていない認知症カフェについても立ち上げや継続支援など、認知症地域支援推進員や生活支援コーディネーターと連携して対応していく。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課							
施策	③ 企業など他団体との連携の強化									
改革手段	2 大学などとの連携									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	16							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		インターンシップの拡大・充実	大学生を受け入れ、職場体験を実施する。	 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへの募集情報の掲載 ・学生の受入 				<ul style="list-style-type: none"> ・学生の職業意識の向上 ・市政への理解の拡大 	人事課	
<small>※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。</small>										

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、積極的に学生のインターンシップの受入を行う。				
取組内容	【取組中】 ・各大学のキャリア支援センター等との調整、各課への理解を図るなどし、積極的に学生のインターンシップの受入を行った。				
取組による効果	・学生の職業意識の向上と市政への理解の拡大を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<p>・令和元年度は、名古屋大学、中京大学、愛知県立大学等の学生15名を、行政課を始め14課で受入れることができ、学生の職業意識の向上と市政への理解の拡大を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。</p>				


○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・インターンシップの受入を積極的に行うために、各課の協力が必要である。
今後の具体的な取組予定	・引き続き、積極的に学生のインターンシップの受入を行う。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

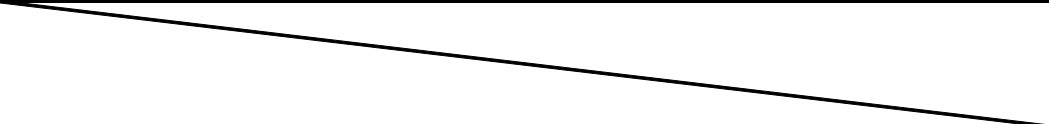
将来像	2 情報・共有	主管課	秘書課							
施策	② 広報機能の強化									
改革手段	1 広報機能の強化									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	19							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		広報とよかわの充実化	毎月発行する広報「とよかわ」の内容を充実させる。	 掲載内容・方法の検討				・広報力の強化	秘書課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・豊川市が国内外に誇るモノづくりを紹介するコンテンツを新設する。 ・図書館の旬な情報などを掲載したコラムを新設する。 ・広報紙の特集やコンテンツの質の向上を図る。 				
取組内容	【取組中】				
取組による効果	・広報「とよかわ」に関する電子市政モニターによるモニタリングの結果、「モノ・ヒト・シゴト」のページについての感想は、「とてもよかった」が14.6%、「よかった」が82.3%となり、概ね良好な評価が得られたため、市民ニーズに沿ったコンテンツ作りを進めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・広報「とよかわ」に関する電子市政モニターによるモニタリングの結果、「読みにくい」の3.1%（前年度2.3%）に比べ、「読みやすい」が70.8%（前年度51.1%）となり、概ね良好な評価が得られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・市民が求める情報の把握に努めながら、定期的な見直しや新たなコンテンツ作りを進めていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・広報紙の特集やコンテンツの質の向上を図る。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	財政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	1 分かる化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	20

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		豊川市の 姿の作成・ 公表	次年度の豊川市の姿として、予算に加えて市民に身近な事業内容等を分かりやすい形で公表する。 ・予算の姿*の継続公表 ・取組内容を検討・充実化	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・分かりやすさの向上 ・施策の認知度向上	財政課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・次年度の豊川市の姿として、予算に加えて市民に身近な事業内容等を分かりやすい形で公表する。			
取組内容	【取組中】 ・当初予算公表資料として作成する「予算の姿」に、写真や図を積極的に掲載することで、事業内容などを分かりやすく伝える資料を作成した。			
取組による効果	・写真や図を活用することで市民に分かりやすい形で予算と事業内容を公表できた。			
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点
取組に対する自己評価	・写真や図を活用することで市民に分かりやすい形で予算と事業内容を公表できたため、目標どおりの効果達成とした。			

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・他市の公表方法なども研究し、より分かりやすい内容に改善していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	財政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	21

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
5		「市債四季報」の公開	市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表する。					・市政の財政状況の透明性向上	財政課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表する。				
取組内容	【取組中】 ・四半期ごとに、全会計の市債残高及び市民一人当たりの市債残高をホームページにて公表した。				
取組による効果	・市債残高を「市債四季報」により四半期ごとに公表することで、市政の財政状況の透明性向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・全会計に係る市債残高の状況を、市民一人当たりの金額に換算するなどして、市民に分かりやすく情報発信し、財政状況の透明性の向上を図ることができたため、目標どおりの達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・公開形式（四季報の形態）と公開時期の検討。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	企画政策課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充		
改革手段	2 見える化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ 22

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
8		会議スケジュールの公開	会議のスケジュールをホームページなどで公開する。	➤➤➤➤➤➤➤➤➤➤➤➤➤➤➤➤				・市政の透明性向上	企画政策課	
				ホームページなどで公開					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各審議会等のスケジュールの公開を引き続き実施する。				
取組内容	【取組中】 ・引き続き審議会等のスケジュールについて、市ホームページ内で案内を行った。				
取組による効果	・市の透明性が向上し、「見える化」の推進に寄与できた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公開して開催する審議会などのスケジュールをホームページで案内することで、市政の透明性向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・今後も引き続き透明性の向上が図られることを目的として、会議スケジュールを公開できるよう、各課で会議スケジュールの情報提供を積極的に行っていく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	2 情報・共有	主管課	行政課							
施策	③ 説明責任と透明性の拡充									
改革手段	2 見える化の推進									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	22							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
10		外郭団体*に関する情報公開	外郭団体の経営状況などを公開する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・外郭団体の透明性向上	行政課	
				ホームページで公開					関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組みを継続する。					
取組内容	【取組中】 ・外郭団体に関する透明性の向上を図ることを目的として、引き続き外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体の概要整理票を作成し、財務状況を市ホームページで公開した。 【URL】 http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/gyoseikaikaku/gaikakudantaiminaosi.html 対象の外郭団体は以下のとおり。 ・公益財団法人豊川市国際交流協会 ・公益社団法人豊川市シルバー人材センター ・公益社団法人豊川文化協会 ・株式会社本宮 ・豊川市開発ビル株式会社 ・豊川市土地開発公社 ・社会福祉法人豊川市社会福祉協議会 ・社会福祉法人豊川市保育協会 ・豊川市施設管理協会 ・豊川市観光協会					
	取組による効果	・外郭団体の透明性が向上し、見える化の推進に寄与した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)		—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成	
取組に対する自己評価	・外郭団体の経営状況を公開することにより、団体の透明性の向上に効果が得られたので、目標どおりの効果達成度とした。					

○審議会の意見・評価(外部評価)

進捗度評価点	—	効果達成度評価点		—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・経営状況について引き続き透明性が図られるよう努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	1 補助金などの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	23

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		サンセット方式の徹底	新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底する。					<ul style="list-style-type: none"> 市費単独補助金の縮減・抑制 	財政課	
				<ul style="list-style-type: none"> 新規補助金への対応 終期到来補助金の見直し、廃止 				関係各課		

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底する。 				
取組内容	<p style="text-align: center;">【取組中】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度当初予算編成方針説明会において、新規補助金における終期設定などを説明するとともに、新規補助金の終期を記載した調書の提出を担当各課に依頼した。 令和2年度当初予算編成において、終期の到来した補助金の見直し、廃止を依頼した。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> 新規補助金には終期を設定し、再度継続の可否を検討するサンセット方式を徹底することにより、市費単独補助金の縮減・抑制につながった。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	6,915	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容や進捗状況を確認することで令和元年度末で「障害者就労支援事業費補助金」「私立幼稚園奨励費補助」「クリーンエネルギー自動車購入費補助」の3件の市単独補助金を終了（当初予算ベースで6,915千円削減）できたため、目標どおりの達成度とした。 				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> サンセット方式の対象外となっている補助金の取扱い。 終期の到来した補助金に関し、各所属が廃止か継続かを判断するための基準設定について検討が必要。 				
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 今後も現在の取組みを継続する。 				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	介護高齢課
施策	① 歳出の最適化		
改革手段	1 補助金などの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	23

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他			
				30	31	32	33		関係組織				
3		金銭給付制度の見直し	市単独の現金給付の制度について廃止を含めて見直しを行う。	>	>	>	>	>	>	>	>	介護高齢課	
取組実施													

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後、直ちに敬老金の支給対象年齢等の見直しは予定していないが、県内及び近隣市町村の実施状況を確認しつつ、敬老金のありかたを検討していく。				
取組内容	【取組中】 ・敬老金として満80歳に5千円、数え88歳に1万円、満100歳以上に3万円を支給していたが、平成29年度より満80歳への支給を廃止した。 ・近隣市町村も同様に敬老金の支給の見直しをしており、他市の支給状況等の確認を行った。				
取組による効果	・満80歳の方への敬老金支給の廃止により、歳出の削減ができた。 ・令和元年度実績：12,210,000円 令和元年度（満80歳含む場合）：19,410,000円（満80歳対象者1,440人）				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	7,200	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・直ちに敬老金の支給年齢等の見直しは予定していないが、今後の見直しに向けて、令和元年度も引き続き近隣他市の実施状況確認、および代替福祉サービスの検討を行ったため目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・敬老金支給の目的の一つである高齢者の所在実態調査という面においては、有効な代替策の実施には至っていない。
今後の具体的な取組予定	・今後は他の高齢者福祉サービスを見直す際に、再度敬老金支給対象年齢等の見直しや廃止を検討する必要がある。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	1 新たな収入確保の検討		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組			該当ページ 25

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他	
				30	31	32	33				
1		使用料・手数料の見直し	無料施設などの有料化の検討を含めた使用料・手数料の見直しを行う。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・自主財源の確保	財政課 関係各課		
				使用料・手数料の適正化							

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・無料施設などの有料化の検討を含めた使用料・手数料の見直しを行う。					
取組内容	【取組中】 ・安定した自主財源の確保のため、使用料、手数料に係る受益者負担の適正化を図ることを目的とし、消費税率改定時に増額分を反映するとともに、改定ルールに沿った形で各施設の経費と収入を積算し、使用料、手数料の一部改定を実施した。					
取組による効果	・自主財源の確保ができた。					
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—			収入増加額・支出削減額実績額(千円)	19,025	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗		効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・消費税率引上げや利用者負担の適正化に伴う使用料等の改定により、約1,902万5千円の収入の増加が見込まれる結果となった。一定の増額が今後も見込まれるため、目標どおりの効果達成度とした。					

○審議会の意見・評価(外部評価)

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・概ね4年毎の通常の見直しにより、適正な使用料及び手数料の設定を行うこととしているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う公共施設の閉館等が発生しているため、見直しを行うにあたり調査時期を考慮する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・前回の改定が平成28年度であり4年経過するため、通常であれば令和2年度に見直しを行う必要がある。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴う公共施設の閉館等が発生しているため、令和2年度の改定は見送り、令和3年度以降、事態の収束時期を考慮しつつ、改定を行う。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)(別掲)

将来像	3 財政・資産	主管課	スポーツ課						
施策	② 歳入の確保の強化								
改革手段	2 広告主募集制度の充実								
具体的取組	1 体育施設などのネーミングライツ実施								
体育施設などのネーミングライツ実施における別掲		該当ページ	27						
番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
1		体育施設のネーミングライツ実施				未定	スポーツ課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ネーミングライツを希望する企業のニーズの把握に努めるとともに、施設に相応しいスポンサー企業を検討する。				
取組内容	【調整中】				
取組による効果	・施設に相応しい企業に、事業概要を説明し交渉した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—	収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—		
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・ネーミングライツの実施に向け、施設に相応しいスポンサー企業を検討したが実施には至らなかった。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見	/				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・他市の実施事例及び企業のニーズ把握に努めること。				
今後の具体的な取組予定	・広告費を削減する企業が多い中で、施設に相応しいスポンサー企業の獲得は現時点で困難のため、引き続き上記課題の情報収集に努める。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	都市計画課 一宮支所 音羽支所 御津支所 スポーツ課 財産管理課							
施策	② 歳入の確保の強化									
改革手段	2 広告主募集制度の充実									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	26							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		公共施設への広告募集	公共施設に企業広告を募集する。					・自主財源の確保 【1,160千円増】	都市計画課 一宮支所 音羽支所 御津支所 スポーツ課 財産管理課	詳細はP27

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各施設で企業広告を募集し、自主財源の確保を図る。			
取組内容	【取組中】 ・6施設で取組みを実施し、自主財源の確保を図った。（別掲にあるとおり）			
取組による効果	・取組みの実施により、年間1,112千円の財源が確保された。			
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	1,160	収入増加額・支出削減額実績額(千円)	1,112	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点
取組に対する自己評価	・6施設の取組みについて、おおむね一定の収入増加額を確保できたため目標どおりの効果達成度とした。			

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見	/			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・各施設で継続して収入を確保できるように、企業等への働きかけが必要である。（各施設の課題については、別掲にあるとおり）
今後の具体的な取組予定	・今後も取組みを継続する。（各施設の取組予定については、別掲にあるとおり）

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)(別掲)

将来像	3 財政・資産		主管課	都市計画課					
施策	② 歳入の確保の強化								
改革手段	2 広告主募集制度の充実								
具体的取組	2 公共施設への広告募集								
公共施設への広告募集における別掲			該当ページ	27					
番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
1		催事場への広告募集	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・72千円増	都市計画課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・現在の取組を継続するとともに、さらなる自主財源の確保を検討する。				
取組内容	【取組中】 ・豊川市催事場では、平成26年度から3箇所で募集を開始し、実施企業に変更はあるものの、平成31年4月1日から1年間3箇所全ての掲載が決定した。				
取組による効果	・豊川市催事場の広告収入により、72千円を確保した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	72		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	72	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・豊川市催事場の広告は、3箇所の掲載を達成したため、目標通りの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見	/		

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・次年度以降も掲載箇所数が減ることのないように継続的に周知していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・掲載箇所数を増加させるなど、さらなる自主財源の確保を検討する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)(別掲)

将来像	3 財政・資産				主管課	清掃事業課			
施策	② 歳入の確保の強化								
改革手段	2 広告主募集制度の充実								
具体的取組	4 新たな広告収入の獲得								
新たな広告収入の獲得における別掲					該当ページ	27			
番号	重点	件名	改革工程				効果	主管組織	その他
			30	31	32	33			
1		ごみカレンダー等への広告掲載	>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>				・90千円増	清掃事業課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ごみカレンダーへ広告掲載主を募集し、広告料収入を得る。				
取組内容	【取組中】 ・ごみカレンダーへの広告掲載を実施し収入増を図る。				
取組による効果	・広告料収入による自主財源の確保ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	90		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	90	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ごみカレンダー（30千円×3口で90千円）へ広告掲載したため目標どおり効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・引続き掲載事業者が確保できるように努める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・広告主の募集を行い、広告料収入の獲得を目指す。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	収納課
施策	② 歳入の確保の強化		
改革手段	3 税込などの確保策の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	28

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		差押え物件のインターネット公売等の推進	差押えた物件をインターネット等を活用した公売により処分する。					・自主財源の確保 [2,000千円増]	収納課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	滞納処分により確保された差押財産のうち、インターネット公売に適した財産については、随時公売を執行する。			
取組内容	【取組中】 ・平成31年度中に不動産5件、自動車2件の差押を行い、公売を含めた折衝段階である。また、搜索を13件行い、差押に値する財産についてはインターネット公売を行った。			
取組による効果	・不動産公売2件、出資金公売3件、インターネットによる公売4件を行い、自主財源を確保することが出来た。			
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	2,000		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	6,141
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点
取組に対する自己評価	・滞納処分により確保された差押財産の公売について、適切な時期に執行することができ、平成31年度中については折衝段階のため公売執行には至っていない物件についても、今後の折衝において完納見込みがない場合は、来年度以降適切な時期に公売を執行するため、継続的な取組として進めているため、目標を超える効果達成度とした。			

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	-		効果達成度評価点	-	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ヤフーによるインターネット公売が令和2年度で終了するため、搜索で発見される財産の公売方法について、検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・滞納処分により確保された差押財産について、随時公売を行う。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課								
施策	③ 財政健全化の推進										
改革手段	1 会計手法の検討										
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	29								
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	関係組織	その他
				30	31	32	33				
1		発生主義 会計の導 入	新公会計制度に基づく、発生主義会計を一般会計などにも導入し、財務諸表を分析して活用する。					<ul style="list-style-type: none"> ・資産、償却、キャッシュフローの明確化 ・企業経営的視点の強化 	財政課		
※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。											

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新公会計制度に基づく、発生主義会計を一般会計などにも導入する。				
取組内容	<p style="text-align: center;">【取組中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体間を同じ物差しで比較することのできる統一的な基準による財務書類等の整備を進めた。 ・外部研修への参加等により、情報収集並びにスキルアップを図った。 				
取組による効果	・資産、償却、キャッシュフローの明確化ができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・公表3年目ということもあり、前年度比較などの経年分析も含めながら予定通りに年度末公表できた。また、外部研修への参加による情報収集等も含め、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・作成する財務書類の活用方法について検討が必要である。				
今後の具体的な取組予定	・経年分析や類似団体との比較をはじめ、「作る」から「使う」公会計へ向かって、引き続き他団体の先進事例を参考に、本市の今後の対応方法を検討する。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	③ 財政健全化の推進		
改革手段	3 予算編成の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	31

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		部 枠 配 分 項 目 の 見 直 し	枠配分項目の見直しにより、真に必要な事業に予算配分する。					・より適切な予算配分の実現	財政課	
				随時見直し						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・枠配分項目の見直しにより、真に必要な事業に予算配分する。				
取組内容	【取組中】 ・予算編成方針における枠配分項目決定時に、前年度予算編成時の問題点などを考慮し、時点修正を実施した。 ・一般財源要求限度額の設定では、通常枠の前年度当初予算に対する乗率を1.00とするも、労務単価の上昇等を考慮し、抑制枠の乗率を1.01とした。				
取組による効果	・予算編成方針における枠配分項目の見直しにより、適切な予算配分の実現につながった。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・枠対象経費については、一般財源要求限度額の範囲内で各課からの予算要求を実施できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価(外部評価)

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・予算総額における枠配分対象額の比率が低く、枠配分効果が限定的となっている。現状以上の効果を出すためには、配分項目の拡大など時点修正以上の見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・枠配分項目の時点修正を継続しつつ、枠配分方式自体の見直しを今後検討する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	企画政策課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	2 施設の見直し及び処分		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	33

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		公共施設の広域利用推進	同種の複数施設と他市町村の施設とを相互利用して本市の施設のあり方を見直す。				経費の削減	企画政策課 関係各課	実施時期未定
				広域連携の取組にあわせ随時見直し・検討						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・ファシリティマネジメントと連携しつつ施設のあり方を見直すとともに、他市町村との施設相互利用について、検討を継続する。				
取組内容	【調整中】 ・引き続き他市町村との施設相互利用について、検討を継続する。				
取組による効果	・施設に係る運営及び維持経費の削減が見込まれる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・ほの国パスポートにより公共施設の相互利用が行われており工程どおりに進捗しているため、計画どおりの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・本市のファシリティマネジメントの取組とあわせて、今後の施設のあり方について検討を実施したうえで広域的な調整を行う必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も他市町村と連携し、広域的な施設の相互利用を継続する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	財政課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	3 保有財産などの利活用の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	34

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		借地の返還 ・買取	引き続き借用するか、返還するか、購入するかを再検討する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>	取組実施		・借地料の削減	財政課		

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き借用するか、返還するか、購入するかを再検討する。				
取組内容	【取組中】 ・平成30年度以降の借地料の見直しのため、担当課ヒアリング等を経て、引き続き借用する以外の方向性として「①令和2年度までに実施を見込むもの」「②長期的な視点で実施を見込むもの」「③今後の方向性等を検討したもの」の3つの方向性を得ることができた。				
取組による効果	・借地料の削減が期待される。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・土地所有者との交渉や県の事業進捗に左右されるなど、外的要因により進捗が異なるものの、一定の方向性を示すことで、今後も引き続きゴールを意識して取り組むことができるようになったため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・土地所有者との交渉や県の事業進捗などの外的要因に呼応して進めるとともに、ファシリティマネジメント推進事業において策定される各計画にも配慮して事業を実施していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今回の検討結果に基づいて関係者と調整実施していく。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	4 維持管理コストの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	35

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他	
				30	31	32	33				
1		電力自由化による電力契約の変更	電力の自由化により、安価な電力へ切り替える。	>	>	>	>	・電気料金の削減 【34,876千円減】	財産管理課		
				供給先の切り替え、検証							

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・現契約を継続更新するか新規入札を行うか、電力情勢等を勘案したうえで検討する。					
取組内容	【取組中】 ・新電力事業者との調整により令和元年度以降もメリットを出すため、中部電力と比較し年間51,582千円の電気料金を削減した。					
取組による効果	・中部電力との電気料金比較は、令和元年度の予定では、34,876千円の削減であったが、令和元年度実績については、51,582千円の削減となり、削減効果が表れた。					
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	34,876		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	51,582		
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗		効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・基本料金の引き下げによる効果は、令和元年度電気料金の削減予定が34,876千円に対して、実績は51,582千円であり、16,706千円上回り、目標を超える効果達成とした。					

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・今後、電力事情が大きく変化していくことも予想されるため、随時、電力情勢を注視していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・現契約を継続更新するか新規入札を行うか、電力情勢等を勘案したうえで検討する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	3 財政・資産	主管課	環境課
施策	④ 公有財産の最適化		
改革手段	4 維持管理コストの見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	35

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		再生可能エネルギーや新エネルギー・省エネ設備の導入	太陽光発電システムや蓄電池などの導入、LED照明設備への変更を行う。	>	>	>	>	・節電による経費の削減 ・CO2排出抑制	環境課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新設、建替、増築にあわせた太陽光発電システムや省エネタイプの照明設備の導入を進める。(具体的な計画は未定) 				
取組内容	【取組中】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の道路照明灯の一括LED化。(リース方式：H29～R9年度契約) ・市内中心市街地の街路灯の一括LED化。 ・市内都市公園の照明灯の修繕に伴うLED化。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・照明灯などをLED化することにより、消費電力が削減され、コスト削減ができた。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネタイプの照明設備(照明灯などのLED化)を導入することにより、消費電力が削減されコスト削減できたため、目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価 (外部評価)

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽発電システムや蓄電池、LED化などの導入には多額の費用が必要となる。 ・省エネタイプの照明設備は、照明設備単独でのコスト削減量を数値化することが非常に難しい。
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、新設、建替、増築にあわせた太陽光発電システムや省エネタイプの照明設備の導入を進める。(具体的な計画は未定)

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	行政課
施策	② 柔軟な組織・権限の見直し		
改革手段	2 外郭団体の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	38

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		外郭団体の見直し	外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体の見直しを実施する。	 方針に基づき見直し実施				・経費の削減 ・業務の最適化	行政課	
									関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も現在の取組みを継続する。				
取組内容	【取組中】 ・外郭団体の見直しを図ることを目的として、引き続き外郭団体の見直し実施方針に基づき、外郭団体の概要整理票を作成し、財務状況及び経営改善行程を市ホームページで公開した。 【URL】 http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/gyoseikaikaku/gaikakudantaiminaosi.html 対象の外郭団体は以下のとおり。 ・公益財団法人豊川市国際交流協会 ・公益社団法人豊川市シルバー人材センター ・公益社団法人豊川文化協会 ・株式会社本宮 ・豊川市開発ビル株式会社 ・豊川市土地開発公社 ・社会福祉法人豊川市社会福祉協議会 ・社会福祉法人豊川市保育協会・豊川市施設管理協会 ・豊川市観光協会				
取組による効果	・外郭団体の自立性の確保とともに、外郭団体の見直しに係る具体的な経営改善計画を策定し、適正な関係の構築を維持したうえで見直しを進めることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・概要整理票を作成し各団体の経営改善表を作成することにより、外郭団体の経営状況の改善を図ることができたので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・外郭団体の見直しに係る具体的な経営改善計画を策定し、適正な関係の構築を維持したうえで見直しを進めるために、取組みを継続していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も現在の取組みを継続する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	財政課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	1 事業実施決定方法の見直し		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	39

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		予算編成の見直し	予算編成の実施方法を実施計画策定の見直しや評価の実施などにあわせて見直す。					<ul style="list-style-type: none"> 意思決定力の強化 意思決定過程の明確化 	財政課	企画政策課

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・企画、予算権限などの一部を各部に移譲する。				
取組内容	【取組中】 ・予算編成方針作成時に予算権限の移譲（枠配分項目の見直し等）について検討した。 ・ファシリティマネジメント関連事業における予算権限移譲について、予算要求や査定時にFMの結果を反映した予算編成を実施した。				
取組による効果	・意思決定力の強化が図られた。 ・意思決定過程の明確化が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・予算編成方針作成時に予算権限の移譲（枠配分項目の見直し等）について検討したこと及びFM関連事業における予算権限移譲について、予算要求や査定時にFMの結果を反映することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 他部署との調整（権限移譲の依頼・受入）が必要である。 枠配分方式については一定の効果が出ているが、現状以上の効果を出すためには、さらなる見直しが必要である。
今後の具体的な取組予定	・権限移譲可能な対象費目の検討、メリット・デメリットの検証を予算編成方針作成時に実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課							
施策	③ マネジメントサイクルの確立									
改革手段	2 評価手法の充実									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		内部評価の実施	事業の所管部署が行う自己評価や職員間で行う庁内における評価といった事業の内部評価を実施する。	内部評価の実施				・事業の効率的な展開	企画政策課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・各課において、指標を重視した事業の実施に取り組むよう引き続き働きかけを行っていく。				
取組内容	【取組中】 ・実施計画の策定において、必要性、有効性、効率性の側面より事業の評価を行う取組を行った。				
取組による効果	・庁内評価による事業の磨き上げと効率的な事業展開が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・実施計画書作成にあたっては、必要性、有効性、効率性といった3つの視点による内部評価を経たうえで、行うこととしている。評価結果に基づき必要な対応や事業決定を行うことで、期待される効果が得られているので、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見	-		

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・事業の効率的な展開を図るために、必要性を始めとしたさまざまな側面、特に客観的な指標に基いた検討が必要である。
今後の具体的な取組予定	・各課において、指標を重視した事業の実施に取り組むよう引き続き働きかけを行っていく。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	③ マネジメントサイクルの確立		
改革手段	2 評価手法の充実		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	40

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		外部評価の実施	市民などによる事前・事後の事業評価を実施する。	外部評価の実施				<ul style="list-style-type: none"> ・改善の推進 ・事業実施選択の促進 ・事業の質の向上 ・意思決定の明確化 	企画政策課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も総合計画実施事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと総合戦略会議で外部ヒアリングを実施する。				
取組内容	【取組中】 ・総合計画実施計画事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと創生総合戦略会議で外部ヒアリングを実施した。				
取組による効果	・市民などからの意見により、事業内容の質の向上や改善が期待できる。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・平成30年度に実施したまち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業において、外部の目線による意見交換および評価を実施したため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見	/		

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・引き続き様々な分野で外部評価が実施できるようにする必要がある。
今後の具体的な取組予定	・今後も総合計画実施事業のうち、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載する事業について、まち・ひと・しごと総合戦略会議で外部ヒアリングを実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	秘書課
施策	④ マーケティング機能の強化		
改革手段	1 マーケティング機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	41

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		電子市政モニター制度の活用	電子行政モニター制度を事業検討過程の一環として活用する。					<ul style="list-style-type: none"> 実施判断の明確化 実施判断力の強化 	秘書課	
				制度の活用				関係各課		

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・モニター応募者の更新・拡大を図るため、広報紙やホームページと合わせ、民間のモニター登録サイト等を活用しながら、継続して電子市政モニター制度を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・対象者100人に対し、年6回のアンケートを実施した。①広報とよかわ（回答率：96%）②多文化共生（回答率：93%）③クラウドファンディング（回答率：87%）④コンパクトシティ（回答率：90%）⑤認知症（回答率：91%）⑥とよかわボランティア・市民活動センターだより（回答率：89%）				
取組による効果	・各施策や事業における市民ニーズ、理解度・認知度を把握することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・6つのテーマの平均回答率は91%と非常に高く、担当課へのフィードバックと合わせ、ホームページを通してアンケート結果を市民に公開できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見	/		

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・モニター応募者の年齢層に偏りがあるため、幅広い年代へ周知する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・モニターの募集にあたっては、広報紙、ホームページ、記者発表等を行い、幅広い年代に呼びかけるとともに、本制度を活用する課等においては、アンケート項目の精査等を行い、市政に繋げるよう働きかける。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	4 組織・仕組	主管課	企画政策課
施策	④ マーケティング機能の強化		
改革手段	1 マーケティング機能の強化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	41

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		アンケート調査などの実施方法の構築	事業ごとに実施するアンケート調査などの効果的な実施方法を構築する。	実施方法の検討				<ul style="list-style-type: none"> ・実施判断の明確化 ・実施判断力の強化 ・事務の効率化 	企画政策課	実施時期未定

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・様々な効果的な実施方法について検討を実施する。				
取組内容	【調整中】 ・第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたり、「若者の活躍」という視点でのヒントを得るため、愛知大学との連携協定に基づき、学生とのミーティングを通じて直接的な意見の抽出を図った。				
取組による効果	・対面式ミーティングという形式により、若い世代から直接的な意見を得ることができ、戦略策定の参考とすることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・データ把握に係る多様な調査・検討を行っているため、計画どおりの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—		
取組に対する外部評価・意見	/				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・情報技術の進化とともに、新たなツールが提供されることが予想されるため、より効果的であると思われる手法についても引き続き調査・検討が必要であると思われる。				
今後の具体的な取組予定	・今後も様々な手法を加味しながら、効果的なアンケート調査を実施する。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課							
施策	① 少数精鋭の推進									
改革手段	1 人材育成の推進									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		職員の専門性の向上策の実施	資格取得補助制度を推進する。	資格試験合格者に経費の一部補助				・専門知識・資格の取得促進	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続して、スペシャリスト養成推進費補助金による支援や、市町村アカデミー等の派遣研修により、職員の専門性の向上を図っていく。				
取組内容	【取組中】 ・スペシャリスト養成推進費補助金を継続して実施し、延6名の支援を行った。 ・市町村アカデミー等派遣研修を継続実施し、費用対効果を勘案し受講者の選定を行った。				
取組による効果	・職員の専門性の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・スペシャリスト養成推進費補助金による支援や、市町村アカデミー等派遣研修の実施により、多くの職員の専門性の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・行政需要が高度・多様化するなか、ますます職員の専門性の向上を図る必要がある。
今後の具体的な取組予定	・継続して、スペシャリスト養成推進費補助金による支援や、市町村アカデミー等の派遣研修により、職員の専門性の向上を図っていく。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		学習的職場醸成の実施	庁内インターンシップやオープンカレッジ*形式の自主研修を実施する。					・学習的職場風土の醸成 ・キャリアプラン*形成機会の醸成	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 各課の協力を仰ぎつつ、庁内インターンシップ及び庁内オープンカレッジを継続して実施する。 				
取組内容	【取組中】 <ul style="list-style-type: none"> 庁内インターンシップを実施し、24名（採用2年目）が受講した。 庁内オープンカレッジを実施し、131名（9講座）が受講した。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> 他部署の業務を経験・知ることによって、自身のキャリアプランを考える機会とすることができた。 学習風土の醸成を図ることができた。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 庁内インターンシップと庁内オープンカレッジの実施により、学習風土の醸成やキャリアプラン形成機会の醸成を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 庁内インターンシップについては、各課の受入協力が必要である。 庁内オープンカレッジについては、メニューの充実に各課の協力が必要なことと、最少催行人数を定めているため、必ずしも希望どおりの講座が受けられるわけではなく、講師（担当課）との調整が必要である。 				
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 各課の協力を仰ぎつつ、庁内インターンシップ及び庁内オープンカレッジを継続して実施する。 				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	42

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
4		EQ*検査の実施	EQ 検査を実施し、組織全体又は所属ごとの診断や、個人への診断結果を伝達する。				<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の向上 ・人材の育成 	人事課	実施時期未定
				研修の実施						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・令和元年度も引続き休講とし、その後については、研修体系の見直しを行う中で、検討していく。				
取組内容	【調整中】 ・平成29年度までに管理監督者である課長級から係長級まで一通り受講を終え、研修体系の見直しにより、平成30年度以降についてはEQ検査を実施しないこととした。				
取組による効果	・特になし。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗		効果達成度評価点	—
取組に対する自己評価	・研修体系の見直しにより、EQ検査を実施しないこととした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・平成29年度までに、管理監督者である課長級から係長級まで一通り受講を終え、平成30年度以降については実施していない。				
今後の具体的な取組予定	・研修体系の見直しを行い、より効果的な研修を実施する。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	43

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
6		上司の人材育成能力の向上策の実施	○J T推進のための職場研修指導者養成研修*を実施する。部下成長度自己チェックを適性申告書*に盛り込む。					・職員の能力向上	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・継続して、新任課長補佐級を対象としたO J T推進リーダー養成研修を実施する。				
取組内容	【取組中】 ・新任課長補佐42名を対象にO J T推進リーダー養成研修を実施した。				
取組による効果	・O J T推進リーダー養成研修を行うことで、O J Tに関する理解を深め、職場での実践スキルの習得を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・O J T推進リーダー養成研修の実施により、職員の能力向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見	/		

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・職場のO J T推進のために、継続して実施していくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・継続して、新任課長補佐級を対象としたO J T推進リーダー養成研修を実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	1 人材育成の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	43

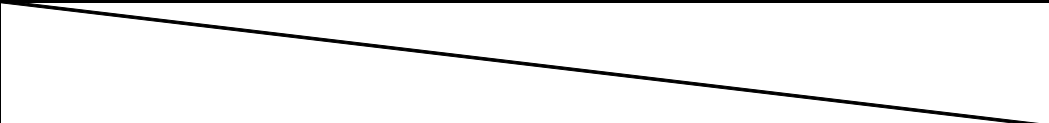
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
7		学び続ける意欲の保持・向上策の実施	目標管理シート*や業績評価シート*に自己啓発目標の項目を追加する。	 目標管理シートや業績評価シートの運用				・自己啓発意欲の向上	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を引き続き設ける。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を設けた。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を実施し、延6名に対し支援を行った。				
取組による効果	・それぞれの取組実施により、自己啓発意欲の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目の記載を行い、スペシャリスト養成推進費補助金による支援を行ったことで、自己啓発意欲の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・職員の自己啓発意識の維持・向上のために、継続して実施できるようにすることが必要である。				
今後の具体的な取組予定	・目標管理シート及び業績評価シートに自己啓発目標に関する項目を引き続き設ける。 ・自己啓発を支援するためのスペシャリスト養成推進費補助金を継続実施する。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	2 定員適正化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		優秀な人材の確保	応募者の増加に努め、職員採用試験のあり方を創意工夫する。	 募集職種・人員の確保				・定員適正化の円滑な推進	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・受験者の質・量確保のため、総合検査（SPI）方式の試験や民間経験者対象の採用試験を継続実施する。 ・大学等へのPR、公務員セミナーの開催（本市主催）や積極的なインターンシップの受入を継続実施する。 				
取組内容	【取組中】 <ul style="list-style-type: none"> ・多くの民間企業が利用している総合検査（SPI）を導入した採用試験を継続実施した。 ・本市採用試験の受験が見込まれる大学等（3校（愛大、愛教大、南山大））の就職説明会等へ赴き、本市のPRを行った。 ・公務員セミナーを本市主催で実施し、本市の仕事を紹介した。 ・積極的なインターンシップの受入（15人）を行った。 ・採用試験の一般方式とSPI方式ともに応募者の全員面接を行うなど、人物重視の採用試験を実施した。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・景気が上向いている影響で地方自治体の受験者が減少する傾向ではあるが、上記取組により、一定の応募者の確保に繋がった。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・一般方式とSPI方式を合わせた採用予定人数63名（事務25、土木技師6、建築技師2、保健師2、消防8、保育士20）に対し、採用者55名（事務22、土木技師1、建築技師0、保健師3、消防8、保育士21）であった。一般方式とSPI方式については、採用予定人数に満たなかったが、民間経験者等を対象とした採用試験を実施するなど、結果として退職者数を補填することができたため、目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次定員適正化計画策定時から行政を取り巻く状況が大きく変化しており、計画数を上回る職員数を確保していく必要がある。そのため、次期定員適正化計画の策定を見据えた人材確保策を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・受験者の質・量確保のため、総合検査（SPI）方式の試験や民間経験者対象の採用試験を継続実施する。 ・大学等へのPR、公務員セミナーの開催（本市主催）や積極的なインターンシップの受入を継続実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	2 定員適正化の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	44

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		多様な採用形態の活用	任期付職員、再任用職員、嘱託員、臨時職員のそれぞれの特徴に合った配置を行う。					<ul style="list-style-type: none"> ・サービス水準の維持 ・職員の業務量抑制 	人事課	
				多様な採用形態による人材確保						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き、再任用職員、嘱託員、臨時職員及び育児休業代替任期付職員を有効に活用する。 				
取組内容	<p>【取組中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の負担軽減等に対応するため、再任用職員、嘱託員、臨時職員を活用した。 ・育児休業によるマンパワーの不足を補うため、育児休業代替任期付職員4名を引き続き任用した。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の負担軽減を図ることができた。 ・育児休業代替任期付職員の活用により、育児休業によるマンパワーの不足を補うことができた。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・再任用職員、嘱託員、臨時職員及び育休代替任期付職員の活用により、職員の負担軽減とマンパワー不足を補うことができたため、目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズの変化に伴う行政需要の増加やワーク・ライフ・バランスの一層の推進に伴う仕事のあり方の変化に対応するため、引続き多様な採用形態を活用する必要がある。 				
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・引続き、再任用職員、会計年度任用職員及び育児休業代替任期付職員を有効に活用する。 				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	① 少数精鋭の推進		
改革手段	3 政策形成・分析能力の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	45

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
1		職員の自律的な能力開発	能力診断ツールによる自己チェックとキャリアプラン*を作成する。					・政策立案能力の向上	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・自身のキャリアプランについて考える機会とするため、適性申告書を活用するとともに、一般職員前期研修及び主任研修において、マイプランチェックシート等の活用を図る。				
取組内容	【取組中】 ・係長級以下の職員を対象に適性申告書を実施し、一般職員前期研修及び主任研修においてマイプランチェックシートを活用した。 ・一般職員前期研修において、「豊川市役所ジョブローテーション指針」について解説し、自身のキャリアプランを意識するための一助とした。				
取組による効果	・自身のキャリア形成に対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・前年度に掲げた目標どおり取組みを進めることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見	/				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・職員の自律的な能力開発を進めるため、上記取組を継続する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・自身のキャリアプランについて考える機会とするため、適性申告書を活用するとともに、一般職員前期研修及び主任研修において、マイプランチェックシート等の活用を図る。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	② 窓口サービスの向上		
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		より身近で便利で快適な窓口サービスの実現	窓口でのコミュニケーションを円滑にするためにタブレット端末の活用を推進する。	>>>>>>>>>>>>>>>>>>	>>>>>>>>>>>>>>>>>>	>>>>>>>>>>>>>>>>>>	>>>>>>>>>>>>>>>>>>	情報システム課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・新規導入アプリの使用感、要望・意見等を収集して、iPadの利用促進を図る。				
取組内容	【取組中】 ・関係各課から導入の要望があった翻訳用タブレット端末（市民協働国際課）やポケットーク（保育課）等Wifi利用端末の導入サポートを行った。また、ポケットーク（保育課）については、既存のタブレット端末を利用し管理・運用ができるように設定を行った。				
取組による効果	・Wifi環境を利用した通訳・翻訳等に利用できるタブレット端末等を導入し、市民サービスを図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・タブレット端末の新規活用を実施し、市民サービスの向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・新たなタブレット端末を利用したサービス等の検討を行う必要がある。各課主導の導入が増えており、Wifi環境等インフラ整備の必要性について検討する必要がある。				
今後の具体的な取組予定	・無線AP等タブレットを利用するインフラの需要を把握して、安定運用を図る。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	市民課
施策	② 窓口サービスの向上		
改革手段	1 より身近で便利で快適な窓口サービスの実現		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	46

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		住民票等 の証明書 発行業務 の見直し	個人番号カード を使って、コンビ ニエンスストアで 住民票などの証 明書の交付を行 う。	取組実施				・市民サービスの 向上	市民課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カード交付時、住所異動届出、郵送による証明書の請求をした方に対し、パンフレットを配布し、コンビニ交付サービスの周知を行い、コンビニ交付サービスの普及拡大のため、周知活動を行う。 ・交付端末機の設置の検討を行う。 				
取組内容	<p style="text-align: center;">【取組中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード交付時や転入・転居などの住所異動届出時に、コンビニ交付パンフレットを配布し、利用を促した。 ・市民課フロアにパンフレットやリーフレットを設置した。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付利用率が対前年比約1.5倍増加した。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード交付時などで利便性を周知したこと、マイナンバーカードの取得者の増加に伴い、コンビニ交付利用率が増加したため、目標どおりの効果達成度した。 				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付手続きへの手間がかかるだろうと思う壁がまだまだあることから、手続きの手軽さやコンビニ交付のメリットをPRし、手軽さを周知する必要がある。
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカード交付時、住所異動届出、郵送による証明書の請求をした方に対し、パンフレットを引き続き配布し、またホームページ・イベントなどでわかりやすいコンビニ発行手続きする方法への周知をしていく。 ・交付端末機の設置の検討を行うため、他市町村調査を行う。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	② 窓口サービスの向上		
改革手段	2 職員の接遇能力の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	47

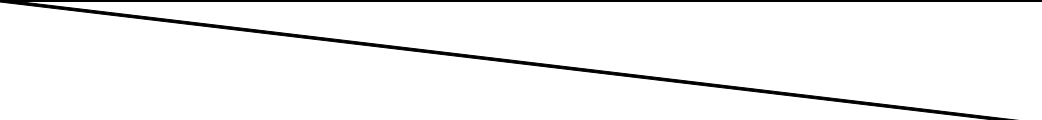
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		接遇向上策の実施	「おもてなCityとよかわ」を実施する。	 各種接遇向上事業の実施				・継続実施による職員の接遇向上	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・接遇向上施策である「おもてなCityとよかわ」の充実を検討し、継続実施する。				
取組内容	【取組中】 ・「おもてなCityとよかわ」として、下記の事業を実施した。 おもてなC強化月間、年替りスキルアップ研修（接遇編）、接遇実地診断研修、とよかわおもてなし講習会、「おもてなC」卓上プレートの設置、「おもてなC」ポスターの掲示、全職員「コンシェルジュ」化の推進、アダプトプログラムの実施、職員の接遇に関する情報共有を行った。				
取組による効果	・接遇に対する意識の向上を図ることができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・継続して「おもてなCityとよかわ」を実施することで職員の接遇に対する意識を向上することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・接遇に関してはゴールがないため、継続して実施していくことが必要である。
今後の具体的な取組予定	・接遇向上施策である「おもてなCityとよかわ」の充実を検討し、継続実施する。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	中央図書館
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
2		ICタグ*利用システムの検討	図書館資料など(貸本を含む)にICタグによる管理システムを導入する。				<ul style="list-style-type: none"> ・事務の簡素化 ・図書等の適切な管理 	中央図書館	実施時期未定
				導入自治体の調査・研究						

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・業者から見積徴収するなど、引き続き調査研究を進める。				
取組内容	【調整中】 ・「ICタグ方式」などの各管理方式の長所や短所をしっかりと見極め、さらなる改良やコスト面での改善などの情報収集に努め、最適なタイミングで最良な方式を取り入れていけるよう研究を継続し、他市の状況など情報収集を行った。				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・有効性や費用対効果について検証した結果、現状では、多大な導入経費が必要となるのに対し、それに見合った経常経費の削減や事務の効率化が見込めないため、豊川市全体については直ちに導入すべきとの考えには至らなかった。 ・ICタグの導入に最適なタイミングを慎重に見極めることが重要であると分かった。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	—	
取組に対する自己評価	・実施した調査研究により現状の把握を進めたことから、計画通りの進捗度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・ICタグを始め図書管理システムは日々進化しているため、その他のシステムも含め、情報収集に努める。				
今後の具体的な取組予定	・有効性や費用対効果について検証をした結果、ICタグ利用システムについては導入しないこととし、その他のシステムも含め情報収集に努める。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
3		わかりやすく便利な電子申請の推進	あいち電子申請・届出システム*の活用を推進する。	 電子申請の推進				・事務の効率化 ・市民サービスの向上	情報システム課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・利用頻度の少ない課に関心をもってもらうため、県や他自治体での活用事例等の情報を収集し、全庁向けに公開をする。また今年度作成した簡易マニュアル等の整備を行い、システム利用への抵抗感を抑制して全庁的に電子申請が利用される風土を醸成する。				
取組内容	【取組中】 ・愛知県の推奨する電子申請の普及方法に従い、共有可能なアンケート等の簡易様式を「職員コミュニティ」へ掲載して、職員が新規にアンケートを作成したい際に簡易様式をコピーして作成することができるようにした。また、利用方法のマニュアルを作成し、問い合わせ対応が容易にできるようにした。				
取組による効果	・電子申請の推進により、事務の効率化や市民サービスの向上が図られた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	3点	目標を超える効果達成
取組に対する自己評価	・愛知県の実施する電子申請・届出システムの操作研修会への参加や、簡易マニュアルを利用した説明によって利用方法学んだ課による新規様式の作成件数が増加した。申請件数は例年と比べて大きく増加したため、目標を超える効果達成度とした。 平成29年度申請件数11,269件 平成30年度申請件数11,338件 平成31年度申請件数16,088件				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・国等の動向も踏まえ、行政手続きのオンライン化を推進していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・各手続きのオンライン化の状況を調査し、オンライン化が可能な手続きについてはオンライン化するためのフォローを行う。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	秘書課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	1 行政サービスの高度化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	48

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	
				30	31	32	33		秘書課	その他
4		災害時の情報連携	災害時に市のホームページに被害があった場合の被害情報の発信を連携して行う。	取組実施 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX				・情報提供の円滑化 ・市民サービスの向上	秘書課	防災対策課

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続き、災害発生時に市民へ情報を伝えるために有効な手法について調査し、体制の構築に向けた取り組みを進める。				
取組内容	【取組中】 ・災害発生時におけるネットワーク障害等を防止するため、現在1カ所で運用しているホームページデータ用サーバーを遠隔地に追加設置した。				
取組による効果	・大規模災害発生時における情報発信機能を強化することができた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・ホームページ用予備サーバーを設置し、災害時における情報発信機能を強化することができたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価(外部評価)

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・市民が情報を収集しやすい環境の整備と合わせ、情報弱者に配慮した発信方法を検討する必要がある。
今後の具体的な取組予定	・災害発生時に、市民へ情報をわかりやすく、迅速に伝えるため、システム整備を進める。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課							
施策	③ 行政情報化の推進									
改革手段	2 行政サービスの効率化									
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	49							
番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
1		住民情報システムの運用	住民情報関連システムを運用し、即時連携を可能とする。					<ul style="list-style-type: none"> 市民サービスの向上 コストの削減 事務処理の効率化 大規模災害対策の強化 	情報システム課 関係各課	平成32年度に次期システム運用予定

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・現行システムが安定して稼働するよう必要となる対策や検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・調達業務全38業務に係るシステムが全てが安定的、継続的に稼働している。 ・停電を想定した非常時優先業務及び応急復旧業務を行うための初動対応訓練を実施した。				
取組による効果	・システム利用期間を7年3か月と想定して、これまでの費用(自庁型)と今回の費用(クラウド型)を比較したところ、35パーセント以上の削減効果が認められた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・大きな障害もなく、安定的にシステムを稼働できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価(外部評価)

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見			

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・令和2年度途中より次期システムに更新となるため、令和元年度はシステム構築のため要件定義を行った。今後は引き続き関係団体と調整を行いながら進める必要がある。
今後の具体的な取組予定	・現行システムが安定して稼働するよう必要となる対策や検討を行いながら、次期システムへの更新に向けた準備を進める。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進		
改革手段	2 行政サービスの効率化		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	49

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		行政情報システムの運用	行政情報関連システムを運用し、効率的な行政運営をする。	 システムの運用				・コストの削減 ・事務処理の効率化 ・大規模災害対策の強化	情報システム課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・今後も継続して安定的に稼動するよう必要な対策及び検討を行う。				
取組内容	【取組中】 ・行政情報システムの安定的、継続的な稼動を実施した。				
取組による効果	・システム利用期間を8年3か月と想定して、これまでの費用（自庁型）と今回の費用（クラウド型）を比較したところ、30パーセント以上の削減効果が認められた。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・1年間、大きな障害なく安定的にシステムを稼動できたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見	/				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・システムの安定的な稼動が必要である。				
今後の具体的な取組予定	・今後も継続して安定的に稼動するよう必要な対策及び検討を行う。				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
3		業務スクラップ運動の推進	仕事力イゼンの取組の一つとして業務スクラップ部門を設け、業務スクラップ運動を推進する。	業務スクラップ運動の実施				・業務の効率化	行政課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	・引き続きT-1 グランプリの中で、業務スクラップの取組みを実施し、さらなる業務の効率化を図る。				
取組内容	【取組中】 ・T-1 グランプリの提案書をチェック表として活用し、業務スクラップを取組みの視点として取り入れてT-1 グランプリを実施した。				
取組による効果	・T-1 グランプリの提案書について、14件の業務スクラップに関する取組みがあり、うち10件が実施完了した。				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	・T-1 グランプリの取組として業務スクラップを実施することで、10件の業務について業務量が軽減され、業務の効率化が図られたため、目標どおりの効果達成度とした。				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—	効果達成度評価点	—
取組に対する外部評価・意見	/		

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	・業務スクラップの割合が全体の約8%と低いため、業務スクラップの推進を継続していく必要がある。
今後の具体的な取組予定	・引き続きT-1 グランプリの中で、業務スクラップの取組みを実施し、さらなる業務の効率化を図る。令和3年度以降については、T-1 グランプリに代わり、内部統制の推進を図る中で業務の効率化を図る。

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	行政課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	1 業務改善の意識高揚と改善の推進		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	50

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織	その他
				30	31	32	33		関係組織	
4		内部統制 *の推進	業務の有効性及び効率性に関する事務リスクの評価(リスクマネジメント)を実施する。	●●●●	●●●●	●●●●	●●●●	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の業務改善意識の向上 ・ 業務の効率化 ・ 法令等の遵守 	行政課 関係各課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 業務手順の可視化作業を実施する。 ・ 職員に向けて内部統制制度の周知を図る。 				
取組内容	【取組中】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 内部統制アドバイザーによる研修を4回実施した。 ・ 「業務手順の可視化の試行的実施」を行い、12の業務について業務手順書と業務フローを作成した。 ・ 業務手順の可視化の有効性に関する管理職員向け研修会を開催した。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部統制アドバイザーの指導等により、職員が内部統制の重要性を認識し、理解を深めることができた。 ・ 業務手順の可視化について、対象事務に潜むリスクの識別等を行うための有効な手法であるか検討することができた。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—	収入増加額・支出削減額実績額(千円)		—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部統制アドバイザーによる研修の受講及び業務手順書と業務フローを作成し業務手順の可視化を行い、職員が内部統制の重要性を認識し、理解を深めることができたため目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価(外部評価)

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見					

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員に向けて内部統制の周知を図る必要がある。 ・ 内部統制の推進方法を検討していく必要がある。 				
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスク管理手順書等を作成し、リスク管理の作業内容の整理を行う。 ・ 職員に向けて内部統制制度の周知を図る。 				

具体的取組評価結果票 (令和元年度分)

将来像	5 人材・品質	主管課	人事課
施策	④ 業務改善の推進		
改革手段	2 職場環境の向上		
行政経営改革アクションプランにおける具体的取組		該当ページ	51

番号	重点	件名	概要	改革工程				効果	主管組織 関係組織	その他
				30	31	32	33			
2		組織目標の共有化の実施	目標管理制度*などを活用して組織目標を共有化する。	 目標管理制度の実施				・目標達成による成果の向上 ・役割分担、職員間コミュニケーション、職場の一体感の醸成	人事課	

※改革工程の年度表記は、元号改定に伴い「31」→「R1」、「32」→「R2」、「33」→「R3」と読み替えます。

○取組に対する自己評価

前年度に掲げた取組予定内容・目標	<ul style="list-style-type: none"> 管理職の目標管理制度を実施する。 新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施する。 各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図る。 				
取組内容	【取組中】 <ul style="list-style-type: none"> 管理職の目標管理制度を実施した。 新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施し、44名が参加した。 各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図った。 				
取組による効果	<ul style="list-style-type: none"> 目標を明確化することによって、自己コントロール能力、部下育成能力、働く意欲の向上を図ることができた。 				
収入増加額・支出削減額予定額(千円)	—		収入増加額・支出削減額実績額(千円)	—	
進捗度評価点	2点	計画どおりの進捗	効果達成度評価点	2点	目標どおりの効果達成
取組に対する自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 目標管理制度の活用により、職員の能力向上や働く意欲の向上を図ることができたため、目標どおりの効果達成度とした。 				

○審議会の意見・評価（外部評価）

進捗度評価点	—		効果達成度評価点	—	
取組に対する外部評価・意見	/				

○今後の取組に対する改革方針

取組に対する今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 所属職員全員への組織目標の共有化の徹底を図る必要がある。 				
今後の具体的な取組予定	<ul style="list-style-type: none"> 管理職の目標管理制度を実施する。 新任課長級及び新任課長補佐級を対象に、目標管理制度研修を実施する。 各部、部門の目標を庁内LANに掲示し、組織目標の共有を図る。 				

4 重点評価の結果(令和2年8月6日実施)

将来像	1 市民・協働	主管課	人事課
施策	③ 企業など他団体との連携の強化	アクションプラン 該当ページ	15
改革手段	1 企業などとの連携	報告書 該当ページ	6
件名	3 企業など他団体との人事交流		

○審議会の意見・評価（外部評価）

取組に対する 外部評価・意見	<p>・豊川青年会議所及び豊川商工会議所青年部ともに、様々な業種の企業の方が集まっており、その中で交流を深め、人脈を広げるということに非常に効果があると考えます。しかし、イベント等の事業活動への参加が中心になっていては、企業の業務、内部の仕組み等を理解し、企業のいいところを行政にフィードバックするところまでは至らないと考えます。</p> <p>・この目標では、派遣し参加させること、継続して受け入れることが目標になっている。市の業務へ還元することが重要であると考えます。民間企業へ派遣している職員から、活動報告等は受けているのか。その中で、行政と民間企業の違いなど、様々な情報を収集し、行政に生かしていくことができる内容なのかを切り分け、学習し、生かしていくことが効果であると考えます。</p> <p>・企業との人事交流を考えるならば期間1年ぐらい出向させなければ民間の知識習得は難しいと考えます。</p> <p>・配属先（マーケティング部、人事部、生産管理部など）の希望も派遣先企業等に依頼して実施すれば効果が大きいと考えます。</p>		
-------------------	--	--	--

将来像	2 情報・共有	主管課	財政課
施策	③ 説明責任と透明性の拡充	アクションプラン 該当ページ	21
改革手段	2 見える化の推進	報告書 該当ページ	12
件名	2 予算編成過程の公開		

○審議会の意見・評価（外部評価）

取組に対する 外部評価・意見	<p>・予算として決まったものだけ公表するのではなく、編成過程を公開することは大変重要な取組みであると考えます。行政政策の根幹部分になると考えるため、信念を持って継続していただきたい。</p> <p>・クラウドファンディング事業は、財政の重点施策として公表した方がいいのではないかと考えます。</p> <p>・予算要求額と財政課の査定で調整された後の予算額が大きいものについて、公開された情報だけでは、その過程が分からないため不十分であると考えます。</p> <p>・「豊川市の予算の姿（ビジュアル版）」や広報に掲載する内容を充実させることで、市民に対する見える化が進むと考えます。</p> <p>・予算に関心を持ってもらう試みも必要であり、一般市民向けの「予算セミナー」、「豊川市の懐事情」などを企画することもよいのではないかと考えます。</p> <p>・情報を公開する際に、単年度予算と長期計画の予算なのかを分かるようにしていただくと良いと考えます。</p>		
-------------------	---	--	--

重点評価の結果(令和2年10月6日実施)

将来像	3 財政・資産	主管課	財産管理課
施策	④ 公有財産の最適化	アクションプラン 該当ページ	33
改革手段	2 施設の見直し及び処分	報告書 該当ページ	16
件名	1 施設の見直し及び処分		

○審議会の意見・評価（外部評価）

取組に対する 外部評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の理解を得るために説明を分かりやすく、丁寧に行い、予定どおり進めていただく必要があると考える。 ・小坂井地区の公共施設再編について、ホームページ上にニュース瓦版（イベント内容の記事）が掲載されていますが、発行日が入っていないため、いつ作成したものかが分かりにくくなっている。発行日を入れる必要がある。 ・今後施設の見直しを行うに当たっては、障害者優先調達法に基づき清掃業務等の委託先を、財産管理課、福祉課、生涯学習課等と連携して進めていただきたい。
-------------------	---

将来像	4 組織・仕組	主管課	財政課
施策	③ マネジメントサイクルの確立	アクションプラン 該当ページ	40
改革手段	2 評価手法の充実	報告書 該当ページ	21
件名	3 施策の成果の見直し		

○審議会の意見・評価（外部評価）

取組に対する 外部評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・各課で評価制度が重複しており、同じ施策に対して複数の評価報告を行わなければならない無駄を検証すべきと考える。
-------------------	---

重点評価の結果(令和2年10月6日実施)

将来像	5 人材・品質	主管課	情報システム課
施策	③ 行政情報化の推進	アクションプラン 該当ページ	48
改革手段	1 行政サービスの高度化	報告書 該当ページ	25
件名	1 GISの活用(工事箇所情報、災害時の情報等の提供)		

○審議会の意見・評価(外部評価)

取組に対する 外部評価・意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主管課の仕事量が分からないが、システム構築自体を情報システム課が行っていないのであれば、「重点取組」とする必要はないと考える。 ・ スマートフォンでサイトを見たが、情報が分かりにくい点がある。今は、パソコンではなくスマートフォンやタブレットで見る機会が非常に多くなっているため、これらの機器ですぐに見て分かりやすいものにする、豊川市のSNSで発信していくことでより市民が使いやすいものになると考える。 ・ 「医療・福祉」のカテゴリーの福祉分野には介護の情報はあるが、障害などの福祉情報が少ないと感じる。GISシステムのより良い活用をお願いしたい。
-------------------	---

参考

■ 審議経過

期日	内容
令和2年4月	主管課評価(自己評価)実施
5、6月	主管課評価(自己評価)結果の整理
8月	6日 第38回豊川市行政経営改革審議会での審議①
10月	6日 第39回豊川市行政経営改革審議会での審議②
10～11月	報告書策定・確認・公表

■ 豊川市行政経営改革審議会委員

令和2年6月25日現在・敬称略

氏名	役職名
阿部 聖	愛知大学 教授
見目 喜重	豊橋創造大学 教授
長谷川 完一郎	豊川商工会議所 専務理事
前原 恵介	豊川青年会議所 理事長
佐竹 宏仁	東海税理士会豊橋支部
酒井 雅喜	連合愛知三河東地域協議会 事務局長
曾田 光子	豊川信用金庫 常勤理事 経営企画部長
堀内 秀雄	ひまわり農業協同組合 総合企画部長
岡本 由紀子	特定非営利活動法人メンタルネットとよかわ 理事長
石黒 貴也	豊川市文化のまちづくり委員会 委員長
山川 和明	豊川市社会教育審議会 委員
中村 信彦	公募
小林 尚美	公募



豊川市行政経営改革プラン
行政経営改革アクションプラン

取組状況報告書

令和2年11月

《発行》

豊川市 総務部 行政課

〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地

TEL : 0533-89-2123 FAX : 0533-89-2125

Email : gyosei@city.toyokawa.lg.jp